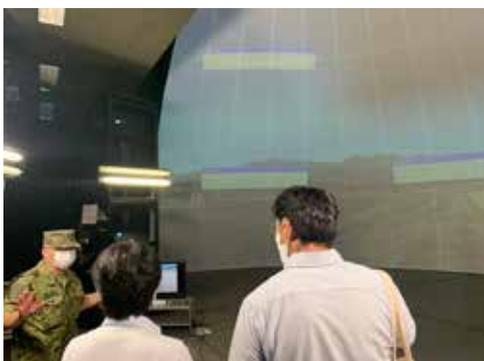


横浜市内高等学校教員駒門駐屯地見学



74式戦車の前で記念撮影



訓練施設見学



自衛隊神奈川地方協力本部横浜出張所（所長 林一陸尉）は、8月1日（火）横浜市内高等学校教員の陸上自衛隊駒門駐屯地見学支援を実施した。本企画は、横浜市内の高等学校教員からの希望により企画したもので、当日は第1高射特科大隊より支援を受け、駐屯地及び職種の説明、訓練施設や車両見学を行なった。猛暑の中であったが、天候にも恵まれ絶好の見学日和となった。参加した教員からは「自衛隊の訓練機材の充実に驚いた」「これからも教え子安心して任せられる」と語った。

横浜出張所は「今後も市内各学校に対し、積極的に駐屯地等見学の機会を設け、自衛隊を身近に感じてもらいたいことにより、自衛官募集につなげていきたい」としている。

横浜地区隊横須賀基地見学



砕氷艦「しらせ」



港内体験航海

自衛隊神奈川地方協力本部横浜地区隊（地区隊長 林一陸尉）は、8月18日（火）、20日（木）横浜市内在住の自衛隊受験希望者及び横浜市内の各学校の教員に対して、海上自衛隊横須賀基地見学を実施した。

本企画は、横浜所に所在する4事務所協同で横浜地区隊事業として企画したものであり、当日は、横須賀地方総監部募集支援班の支援を受け、最新イージス艦「まや」、砕氷艦「しらせ」の艦艇見学、港内体験航海、体験喫食、組み紐体験など内容盛り沢山の基地見学となった。

参加した受験希望者からは「船を動かすために色々な仕事があることに驚いた」「入隊後にやりたいことが具体的に見えてきた」など、また教員からは「コロナが落ち着いたら生徒たちにも見せたい」などの声が聞かれた。

横浜地区隊は、「今後も横浜地区隊一丸となり積極的にイベント等を企画し、事務所間の連携を密にして大都市横浜での自衛隊に対する理解を深化させるとともに、更なる募集環境の醸成に努めていきたい」としている。



最新イージス艦「まや」



掃海艇「えのしま」